



〈第四十七回〉

若い人たちに語り継ぎたい、
次の世代に残しておきたい。
貴重な話をお届けしますー。

あすへひとこと

いつの時代までも残したい

邑楽町の昔ばなし



毎年、3月下旬から4月上旬に桜が見頃になる長柄神社。樹齢400年のエドヒガンもあります(写真は昨年の様子:原田隆雄さん撮影)

篠塚の長柄神社

長柄神社と長良神社はどちらも、ながら神社と呼びます。

篠塚には古くから鎮守の神様が祭られていたようです。大昔、ここに住んでいた長柄一族の大神の先祖は、大國主命の子の事代主系ではなかったかといえます。そこで、この辺に勢力のあった長柄一族が住んでいたのが長柄郷と称したようです。

その一族が始めに、奈良時代から自分たちの先祖にあたる事代主神を長柄神社に祭神としてお祭りしてきました。ちなみに、隣の狸塚には事代主神の父親・大己貴神(おおなむちのかみ) 大國主命を祭神とする貴宮神社があります。貴は「むち」とも読みます。

さて時は移り、時代が変って平安時代になると、藤原氏が勢力を延ばしてきました。やがて赤井氏が瀬戸井(千代田町)に、藤原氏の守り神である奈良春日大社の末社に祭られた藤原長良公の長良神社を、清和天皇の貞観11年(869)9月に勧請して佐貫の庄の総鎮守にしたそうです。

時の勢力者が瀬戸井に、ながら(長良)神社をお祭りしたのに、こちら篠塚で、ながら(長柄)神社を祭り、平気である

わけにはいかなかったのでしょうか。

それから12年後の元慶5年(881)、篠塚でも長良公を祭神として勧請し合祀したそうです。

邑楽郡とその近隣に祭られている、ながら神社は篠塚の長柄神社系と、瀬戸井の長良神社系があることはこれがためです。ちなみに、邑楽郡で長柄と書く神社は篠塚を始め、板倉町の細谷・離・下五箇・飯野・板倉・岩田・初谷などにあります。

元弘3年(1333)5月、篠塚城主齊藤伊賀守重広が新田義貞に忠じて鎌倉攻めの参陣のとき、この社頭に武運長久を祈願したといわれます。今の篠塚の長柄神社の本殿などは、安永8年(1779)に建てられたもので、本殿には見事な彫刻が施されています。境内は、もと2町3反5畝(2万3305㎡)の広さで先の戦争の終戦まで長柄の森といわれ、杉の大きいうつそうとしていて森厳な聖域でした。今、樹齢400年という桜(エドヒガン)の名木が昔を物語っています。

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会
平成10年12月31日発行「高齢者の語り(第六集)あすへひとこと」より



ひとりごと From editors

▶先月の中学校卒業式では、中学生と父母のかたがたのパワーに圧倒…。だけど、カメラを向ければ皆フレッシュな笑顔をくれて楽しい取材に。また、ある子に「師匠」などと言われ弟子まで出来てしまい、私の方が良い思い出に。今年度も私の師匠「なんちゃってカメラマン(⇒深澤)」と協力して頑張ります。ちなみに私は和樹です。(本澤)
▶桜は一時しか咲かないのに、一生消えない思い出を作ってくれたりする不思議な花です。数ある取材もそれに似ているように思います。さて、新年度がスタートです。広報おうらは変わらず町民の皆さんの笑顔を追いかけ、町の「今」を形にします。そのためにも『笑顔の伝道師(⇒本澤)』と協力して頑張ります。ちなみに私は大樹です。(深澤)

Photo広報担当者



菜の花咲いて
(中野地内)



この広報誌は、自然保護のため
植物油インキを使用しています。



この広報誌は、東日本大震災で被災した三菱
製紙のニューVマット紙を使用しています。

邑楽町携帯サイト
2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。
携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>



編集・発行 邑楽町役場企画課

〒370-0692 (住所記入不要)

☎0276-88-5511 (代表)

☎0276-47-5007 (企画課直通)

☎0276-89-0136

URL <http://www.town.ora.gunma.jp>

E-mail koho@town.ora.gunma.jp